



施設りんどうの外観



りんどうのエントランス

組織は人であるとは言いますが、「りんどう」は介護する人が若々しく、かつ思いやりがあることが印象的です。それに、ここは静岡市葵区水見色にあって、地名の如く水のきれいな自然豊かな施設です。そのことが、紹介する理由です。

りんどうは福祉会として、特別養護老人ホームを初め、ショートステイ、デイサービスセンターなどさまざまな事業を複合的に展開して我々の暮らしを応援してくれています。

りんどうでは次のようなサービスを心掛けています。

- ①ご利用者の自立的生活の支援
- ②社会的孤立感の解消
- ③心身機能の維持向上
- ④ご家族の心身の負担の軽減



入口内部の光景

りんどうでは新型コロナウイルスが入居者に感染するのを防止するため、令和2年2月27日から6月21日まで入居者への面会を中止していましたが、静岡地区では落ち着きつつあるので面会の再開をしました。

ところが感染防止対策として、訪問者のマスクの着用、体温測定、手指などの消毒など、その他文書で感染の恐れのある人の入場制限をしています。

気が付いたことは、介護をしている方々が若いということです。介護を受ける人の年齢層が高いことは当然であるが、介護、支援をする人々が若いことが雰囲気を変えている、予想以上に活気があり明るいことです。



[利用者が室内散歩の途中休憩](#)



[施設内通路](#)

心の安らぎを目指した介護や支援を目指して、利用者が我が家に居るような心地になるよう心掛けています。

また、「りんどうの集い」をはじめ、地域との交流事業を大切にしているといいます。

多くの施設の共通の課題と考えますが、特別養護老人ホームを覗く範囲では、入所希望者が多く介護サービスをするスタッフの数が足りていないという印象を受けました。

「一人ひとりの思いを尊重し、寄り添ったケアを実践することを目標にしている」としていますが、これからも「その人らしい生活」「生きがいづくり」を大切にしていきたいと思います。

取材：静岡地区担当 生きがい特派員 早川和男